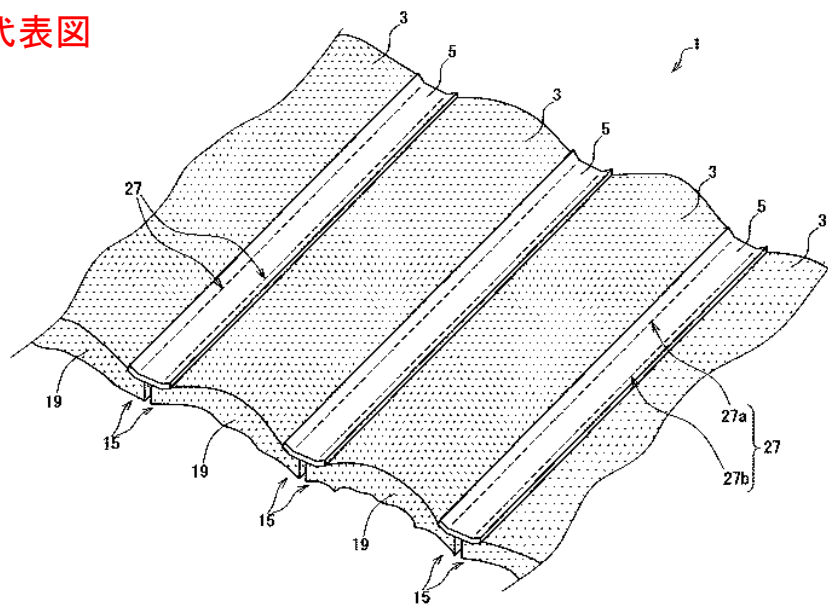


繊維

クッション部材として使用可能な変形するヘチマシート

発明の名称	ヘチマシート及びその製造方法		
出願人/権利人	株式会社ワタセ	発明者	辻 貴史
出願日	平成26年3月12日	出願番号	2014-048392
公開番号	2015-171453	特許番号	6325848
法的状態	登録中		

代表図



1 ... ヘチマシート 3 ... ヘチマ繊維展開体 5 ... 保持部材
15 ... 縁部 19 ... 短縁 27, 27a, 27b ... 縫い目

発明の概要

クッションとして対象用品の形状にあわせて多重に折り曲げて使用することが可能なヘチマシート

特徴

本発明のヘチマシートは、柱状のヘチマ繊維体が切り開かれており、複数のヘチマ繊維展開体が互いに重ならないように配列されている。ヘチマ繊維展開体の配列方向に可撓性を有し、複数のヘチマ繊維展開体にまたがって配置され、配列状態を保持する保持部材を備えている。シートはクッション部材として種々のものに使用可能である。例えば、ヘルメットの内壁を覆って装着されるクッション部材として、あるいは布団または座布団の中綿に装着可能である。ランドセルの背当てのクッション材として装着することができる。この様に使用した場合、快適なクッション性と通気性を確保できる。

接着力等が向上した難燃化ハニカムスクリーンの製造法

発明の名称	難燃化ハニカムスクリーンの製造法		
出願人/権利人	畑野産業株式会社	発明者	畑野憲司、畑野祥太、畑野富雄
出願日	平成28年1月26日	出願番号	2016-012109
公開番号	2017-133190	特許番号	6328157
法的状態	登録中		

代表図

図面なし

発明の概要

接着強度・流動性が向上する難燃化ハニカムスクリーンの製造法

特徴

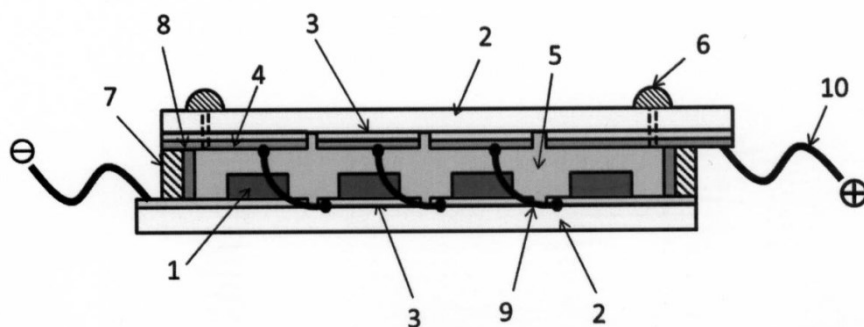
従来、高い断熱性・保温性を持つハチの巣のような六角形のスクリーンが特徴のハニカムスクリーンの製造において、難燃化布帛の接着剤に、難燃剤を添加すると接着強度が低下する問題があった。難燃化布帛の接着剤に、難燃剤を添加すると接着強度が低下する問題解決には、もともと接着強度の大きいホットメルト接着剤を用い、難燃剤の添加量をできる限り少なくする難燃剤系を選択する方法、基材の洗浄による接着強度の向上がある。また流動性向上には、可塑剤、滑剤の添加により解決できる。さらにクレープ強度の低下、難燃性の低下の問題には、架橋工程を備えることで解決した。

エネルギー

高電力が実現可能な太陽電池モジュール

発明の名称	色素増感型太陽電池モジュール		
出願人/権利人	株式会社昭和、高安輝樹	発明者	高安 輝樹
出願日	平成28年10月28日	出願番号	2016-211988
公開番号	2018-73983	特許番号	-
法的状態	出願中		

代表図



1. 多孔質酸化チタン/色素増感剤
2. ガラス基板 3. 透明導電膜
4. 電気化学的還元触媒層
5. 電解質 6. 電解質注入孔
7. 封止剤 8. スペース
9. 接続配線 10. 外部接続配線

発明の概要

高電力が発現できる、透明導電膜を用いた色素増感型太陽電池モジュール

特徴

色素増感型太陽電池は、製造方法が簡便であり、安価に製造することができ、高い光電変換効率を得ることができるので、現在注目されている太陽電池である。本発明は、光電極と対極とが電解質層を介して対向配置された色素増感型太陽電池モジュールである。透明導電膜ガラス又は透明導電膜フィルム上に色素増感剤を含有する酸化チタン層が形成された光電極が2個以上配列されており、透明導電膜ガラス又は透明導電膜フィルムは、対極と対向する面において、透明導電膜がエッチングにより除去されて、絶縁されているため、電力低下の問題が解決可能である。

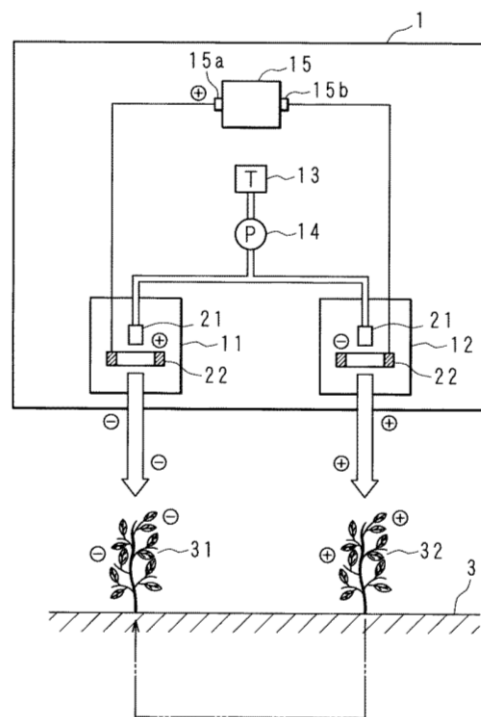
業務用機械

作物に薬液をムラなく噴霧する静電噴霧方法

発明の名称	静電噴霧装置、飛行体、及び静電噴霧方法		
出願人/権利人	有光工業株式会社	発明者	八塚 慎二、亀井 紀幸
出願日	平成28年10月28日	出願番号	2016-212010
公開番号	2018-69157	特許番号	-
法的状態	出願中		

代表図

- 1 静電噴霧装置
 3 圃場
 11 第1ノズルユニット
 12 第2ノズルユニット
 13 タンク
 14 ポンプ
 15 電源部
 15a 出力端子
 15b アース端子
 21 噴霧ノズル
 22 帯電部
 31、32 作物



発明の概要

帯電した液体を噴霧する静電噴霧装置、飛行体、及び静電噴霧方法

特徴

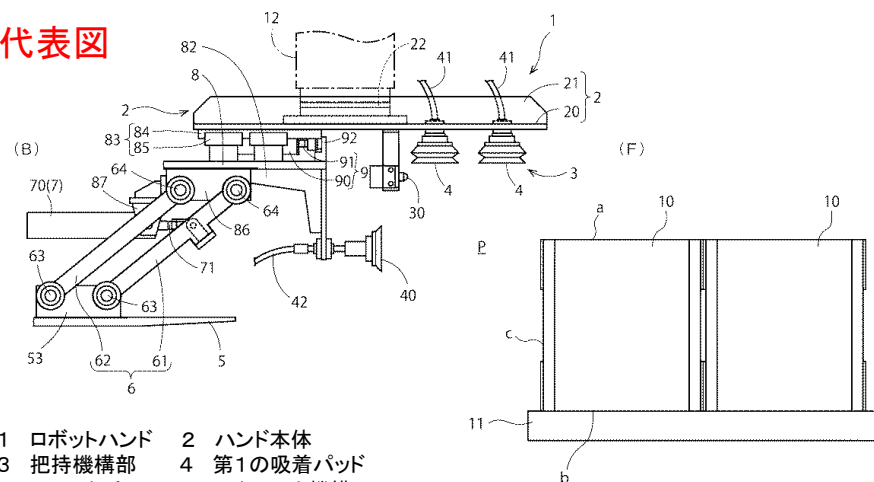
従来の技術では、ポット栽培されている作物のように、接地されていない状態にある作物の場合、作物に付着した薬液によって、薬液の極性と同一極性の電荷が作物に溜まる。すると、静電効果が損なわれるので、作物に薬液をムラなく付着させることができない。本発明の静電噴霧装置は、帯電した液体を噴霧する静電噴霧装置において、液体を噴霧する複数の噴霧ノズルと、正に帯電し、噴霧ノズルから噴霧される液体を負に帯電させるための帯電部を備えており、安定した噴霧動作を行なうことができ、作物に液体をムラなく付着させることができる。

電気機械

高速動作させても荷崩れしにくいロボットハンド

発明の名称	ロボットハンド		
出願人/権利人	オムニシダ株式会社	発明者	廣川 雅也
出願日	平成28年11月17日	出願番号	2016-224142
公開番号	2018-79546	特許番号	6253750
法的状態	登録中		

代表図



- 1 ロボットハンド 2 ハンド本体
 3 把持機構部 4 第1の吸着パッド
 5 フォーク爪 6 平行リンク機構
 7 往復動機構 8 可動板
 10 荷 11 パレット 12 ロボットアーム
 20 板材 21 立ち上がり壁 22 接続部
 30 ストッパー 40 第2の吸着パッド 41 ホース 42 ホース 53 軸支板
 61 駆動リンク 62 従動リンク 63 枢軸 64 枢軸 70 エアシリンダ 71 ロッド
 82 支持枠部 83 ガイド機構 84 トラックレール 85 スライダ
 86 軸支板 87 取付板
 90 エアシリンダ 91 ロッド 92 端板
 a上面 b下面 c側面
 B ロボットハンド1の後側 F ロボットハンド1の前側 P 荷の支持空間

発明の概要

ロボット本体を高速動作させても荷の位置ずれや脱落が生じるおそれがないロボットハンド

特徴

従来技術では、ロボット本体の旋回時、大きな遠心力が荷に作用すると、荷が位置ずれしたり、荷が抜け出て脱落するおそれがあるため、ロボット本体を高速で動作させることができない。本発明では、荷を把持機構部により把持して搬送するとき、荷の上下面を挟持するとともに側面を吸着により保持するので、荷の位置ずれや脱落が防止され、ロボット本体を高速で動作させることができる。また、フォーク爪は上昇しつつ前進して荷の下面を当接し、さらにフォーク爪は下降しつつ後退して荷の下面より離れるので、荷を挟持する動作や荷を解放する動作に時間を要せず、作業効率が上がる。

関連分野

電子部品・素子、業務用機械、陸上輸送機械、海・空等輸送機械、専門技術サービス

ケミカル

血圧を下げる効果のあるムメフラール高含有梅エキス

発明の名称	血圧降下用組成物		
出願人/権利人	中野BC株式会社	発明者	我藤 伸樹、門脇 昭夫、久米 弘之
出願日	平成29年12月5日	出願番号	2017-233616
公開番号	-	特許番号	6329317
法的状態	登録中		

代表図

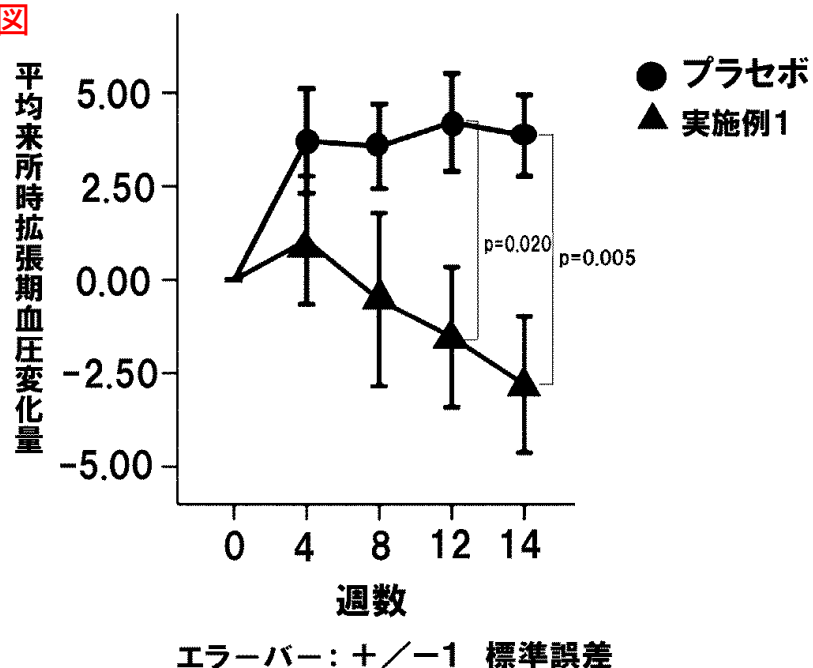


図1: 平均来所時拡張期血圧変化量を示すグラフ

発明の概要

ムメフラール高含有梅エキスを含有する血圧降下用組成物

特徴

本発明の組成物は、血圧降下作用を有し、血圧降下作用の持続時間を改善(好ましくは長期化又は延長)することができる。ビーズ等の徐放化製剤技術を採用しなくても作用の持続時間を改善(好ましくは長期化又は延長)することができる点、例えば毎日などの連続投与(服用)をし忘れていても支障なく血圧降下効果が奏される点で特に優れている。飲食品、飼料、食品添加剤、飼料添加剤、医薬品、又は化粧品等であってよく、好ましくは、飲食品等である。血圧高めの人やI度高血圧の人に適している旨の表示を付した血圧降下作用持続時間改善用飲食品に使用可能である。